

事業報告書

団体名：特定非営利活動法人プロジェクト保津川

1.メニュー名	申請メニューにチェック☑をしてください。 <input type="checkbox"/> スタート事業 <input type="checkbox"/> ステップアップ事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民連携事業
2.事業名	みんなでつくる環境フェスティバル
3.対象	事業の対象となった地域や地域住民を記入してください。
亀岡市内（亀岡市役所内開かれたアトリエほか）／亀岡市民	
4.期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和4年4月1日～令和5年3月31日までです。
令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	
5.地域課題・事業目的	支援金申請書に記入した、地域課題・事業目的を改めて記入してください。
<p> 亀岡市内を流れる保津川（桂川）は、ごみの大量漂着や水質悪化など河川環境の悪化が深刻化し、その環境保全が大きな課題となっている。こうした中、2018年12月に発表された「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」をふまえて、2021年1月より全国初のレジ袋使用禁止条例が施行されるなど、亀岡市における使い捨てプラスチックごみ削減の取り組みは国内外から大きな注目を集めている。また、小学校から大学に至るまで、亀岡市内では熱心に環境教育が展開されており、環境先進都市の実現に向けて着実に若い世代の市民が育っている。 </p> <p> しかし、レジ袋以外の使い捨てプラスチックの削減や、廃棄物全般の削減は依然として大きな課題であり、ライフスタイルの根本的な転換が求められている。保津川の景観を守り、豊かな亀岡の自然を次世代に受け継いでいくためには、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を広め、市民意識の向上をはかることで、生活に深く入り込んだ「使い捨て」文化から脱却し新しい資源循環を確立することで、世界的な潮流となっているサーキュラー・エコノミー（循環経済）を実現していくためには、これからどんな取り組みを進めていくのかを多様な市民の参加のもと考えていくことが欠かせない。本事業ではそうした問題意識のもと、市民の手作りによる新しい「環境フェスティバル」に取り組む。 </p>	
6.実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。 (実施日、場所、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
<p> 今年度は2回の環境フェスティバルを実施した。それぞれの内容は以下の通りである。 </p> <p> 第1回 令和4年8月28日 </p> <p> 会場 亀岡市役所地下 開かれたアトリエほか </p> <p> 内容 SHOGEN とごみ収集車にペイントしよう！、夏のコンポストワークショップ（くらしゴトLabo）、～可愛く楽しくエコに参加！～マイクロプラスチックでアクセサリーをつくろう、（felice）、映画「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る2050年」日本語吹替版上映会、学生のみなさんの研究発表、行政や企業・団体の展示、キッチンカーでの飲食品の販売 </p> <p> ▶ 当日は200名以上の参加があり、各ブースとも大勢の人で賑わった。特にごみ収集車へのペイントイベントは大変好評であった（参加者約100名）。キッチンカーでは、使い捨てプラステッ </p>	

ク容器・カトラリーを使用しないようにしたほか、電気自動車による電源供給を行い、CO2削減にも取り組んだ。特に親子連れを中心に、当団体主催のこれまでのイベントとは異なる層の参加が多く、環境問題への取り組みを今までにない形で発信できた。



第2回 令和5年3月18日

会場 亀岡市役所地下 開かれたアトリエほか

内容 石工に石臼で挽いてもらうお抹茶体験 with 守屋先生（斎田石材店）、春のコンポストワークショップ（くらしゴト Labo）、いかだ作りに使った竹をリメイク！竹箸・アクセサリー作り体験（長岡銘竹）、映画「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る2050年」上映会、今日だけリユースショップ ORCA（（一社）みんなの居場所 ORCA）、ストッププラスチックごみ（NPO 法人環境保全ネットワーク京都）、民俗探究プログラム 写真でたどる保津川の今昔（京都先端科学大）、亀岡の環境はどうなってるの?!（京都先端科学大）、廃材でエコなタコをつくろう！（CAINZ）、新しいごみの分別ルールの説明（亀岡市）、スーパーマーケット環境調査2022「お店のプラスチック調査」報告（京都市ごみ減量推進会議・堀孝弘氏）、キッチンカーでの飲食品の販売

- ▶ 当日は悪天候のため、特に午前中の人出は少なかったが、天候の回復した午後からは参加者も増え、最終的な参加者は100名を超え、物販等は完売も相次いだ。第2回目は、体験型のワークショップが増え、それぞれの参加者の満足度も大変高いものであった。キッチンカーでは、前回同様、使い捨てプラスチック容器・カトラリーを使用しないようにしたほか、電気自動車による電源供給を行い、CO2削減にも取り組んだ。当日は、市内で他のイベントもあり、今回はキッチンカーは市外からの参加もあったが、亀岡市でのキッチンカー出店時のごみやCO2の削減努力について、今後の参考になった、という感想もあった。また、亀岡市資源循環推進課による4月から始まる新しいごみ分別ルールの説明会は、大変関心が高く、わかりやすい説明だったという感想も多く聞かれた。



**7.成果と
課題**

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を下記の①～③ごとに記入してください。

① 実施結果数値（6.で記入した事業の回数や参加者数などをまとめてご記入ください）

事業実施回数 2回

参加者（来場者） 第1回 200名以上、第2回 100名以上

② 事業による変化・成果目標（課題解決にどのような効果があったのか）

- ・ 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨が広く市民に浸透する。
 - 大学生による報告では、海外での脱プラスチックの取り組み状況の聞き取り調査や、河川ごみ調査によりエコウォーカーによるごみの減少効果が推測される結果となったことが報告され、宣言の意義や効果をさまざまな視点からアピールすることができた。
- ・ 生ごみの堆肥化に対する理解が進み、生ごみの焼却処分量が減少する。
 - コンポストワークショップには、さまざまな市民が参加し、家庭での生ごみ堆肥化を草の根レベルで広げることができた。
- ・ ペイントイベントを通じてごみ収集事業への理解が深まり、家庭レベルでのごみの分別や削減の取り組みが一層進み、亀岡版ゼロエミッション計画の達成に貢献する。
 - 当日、多くの参加者があっただけではなく、その後も、市内でごみ収集にあたっているペイントされた収集車の様子が多数 SNS でシェアされるなど、廃棄物行政への関心を高めることができた。
 - また、第2回目のフェスティバルでは、新しいごみ分別ルールの説明会を実施したところ、その意義等を理解できた、という声が多く、廃棄物削減への意識をさら高めることができた。
- ・ 使い捨てプラスチックの発生抑制に向けた市民の自発的な取り組みが広く行われるようになり、2030年までの使い捨てプラスチックごみゼロを実現する。
 - キッチンカーをはじめ、出店者・出展者にも使い捨てプラスチックをはじめごみ削減の協力を呼びかけ、来場者からも好評であった。また、出店者からも、今後のイベント出展の際には今まで以上にごみ削減に協力したいという声が多くあり、今後の市民の自発的な取り組みの広がりが期待される結果となった。

<p>③ 事業を実施しての課題</p> <p>当初は、中学生や高校生の報告も予定していたが学校行事等により、スケジュールが合わず、今年度は実現できなかった。また、保津川の日等、他の環境イベントと今後はさらに連携することで、来場者を大きく増やすことも、運営スタッフから提案があり、今後の課題として取り組みたい。</p>		
8.協働の効果	<p>今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。</p>	
<p>くらしゴト Labo とは、環境フェスティバルのほかにも協働でコンポストワークショップを開催するようになった。また、川と海つながり共創プロジェクトとは、こども海ごみ探偵団などの事業での連携がさらに深まった。また、環境フェスティバルを通して、これまでにない多くの市内外の事業者や団体とつながることができた。今後の取り組みに、こうしたつながりを活かしていくことで、さらなる市民の参加につなげ、市民意識の向上を図りたい。</p>		
9.今後の展開	<p>事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p>	
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄附金）
2年目	<p>環境フェスティバルの開催</p> <p>▶ 若者による実行委員会の組織化については、スケジュール等を再検討し、大学生の他、中高生の参加を増やしたい。</p>	寄附金、公的・民間助成金など
3年目	<p>環境フェスティバルの開催</p> <p>▶ 若年層の運営への参画を通じて、実行委員会を中心とした運営に徐々に移行したい。</p>	寄附金、公的・民間助成金など
10. SDGs への取組	<p>SDGs（持続可能な開発目標）は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030年までに達成すべき17のゴール（目標）と169のターゲット（具体的目標）から構成されています。</p> <p>今回実施された事業によって取り組めたゴールの番号と内容をご記入ください。</p>	
番号	取組の内容	
4	学生によるポスター展示、各種報告	
7	電気自動車によるキッチンカーへの電源供給（エンジン型発電機の使用禁止）	
11	市内河川ごみ調査の結果報告、新しいごみの分別ルールの説明会、コンポストワークショップ	
12	キッチンカーやWSでの使い捨てプラスチックの排除、リユースの促進	
14	プラスチックごみ問題への啓発	
17	取り組みの全てにおいて、さまざまなパートナーとの協働を進められた。	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。



みんなでつくる 環境フェスティバル

8/28(日)10時~15時

亀岡市役所 開かれたアトリエ ほか



SHOGEN とゴミ収集車にペイントしよう!

ペイントアーティスト SHOGEN さんといっしょに、ごみ収集車を思い思いの絵で仕上げよう!

時間 10時~12時
参加費 無料
人数 40名(子供優先・応募多数の場合は抽選)
申込み 右記QRコードより



映画「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る2050年」上映会

米NYのこどもたちが実現した発泡スチロールトレイ廃止を追いかけたドキュメンタリー映画。亀岡のみなさんもたくさん声優として参加した日本語吹き替え版を上映します。

時間 13時~15時 参加費 無料

日本語吹替にたくさんの方が協力

子供声優には全国578人からの応募が!



アーティスト、政治家、環境活動家などが映画出演

亀岡市議会の福川議員はニューヨークの議員役を担当!

亀岡の子とみたちも声を出演!

亀岡市の桂川市長がニューヨーク市長の声を熱演!

夏のコンポストワークショップ

生ゴミが消える不思議なコンポスト「キエーロ」を作って、使い心地を試してみよう!

時間 10時~11時半 / 13時~14時半
(環境講座&コンポストのお話の後、キエーロ作り)
参加費 2,000円(HOZUキエーロキットは5,000円)
人数 午前・午後共に5組ずつ(先着順)
申込 右記QRコードより

くらしゴトLabo



学生や生徒のみなさんの研究発表

環境問題に取り組む高校生や大学生のみなさんの研究成果を展示します。

行政や企業の展示

タイガー魔法瓶:地球にも人にも優しくありたい。モノ大切にしたいから、私達はボトルの再資源化にも取り組んでいます。

ゴキゲンらほ:心豊かに地球と子どもたちの未来を守る”をテーマに掲げ、サステナブルなライフスタイルを提案しています。

~可愛く楽しくエコに参加!~ マイクロプラスチックで アクセサリをつくろう

海岸で集めたマイクロプラスチックで素敵なアクセサリを作しましょう。

参加費 1,000円(先着30名・申込不要)



キッチンカー

ランチはキッチンカーをおいしい料理を楽しんでください。

場所 市役所軽自動車用駐車場





観客賞
ドキュメンタリー部門
プロビデンス
子供映画祭

最優秀審査員賞
グリーンポイント
映画祭

最優秀
ドキュメンタリー
Amateur Category
RAWSCIENCE映画祭

最優秀
ドキュメンタリー
Youth Jury
シナトル国際子供映画祭

最優秀
ソリューション賞
シネマヴェルデ
環境映画祭

ベギーチャグリン
アクティビスト賞
ボストン国際
子供映画祭



プラスチック汚染問題解決に立ち上がった ブルックリンの小学生が実践する変革のレシピ！

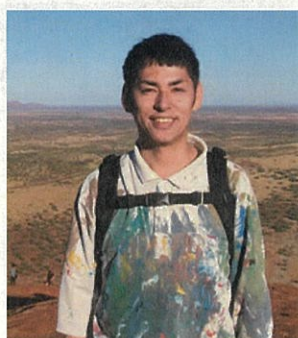
『マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年』は、ニューヨーク・ブルックリンの小学 5 年生たちが世界的に大きな問題になっているプラスチック問題を学び、彼らの視点でこの問題の根っこが何かを考え、解決に向かって自分たちの学校や地域から行動を広げて行くまでの 2 年間に追ったドキュメンタリー映画です。

子どもたちは、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で使い捨てプラスチックを減らす活動を重ねていきます。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校からアクションを起こします。そして、このアクションはニューヨーク市全体に広がり、ついに発泡スチロールトレイ廃止が実現します。

「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年」の日本語代替版制作はタラ オセアン ジャパンとアニエスベールにご支援いただきました。



Fondation
taraocean aquis b.
商標と共有



SHOGEN (上田祥玄) ペイントアーティスト/日本ペイントスペシャルアンバサダー

ペンキを画材に鮮やかな色彩で描かれる、タンザニアのとある村だけで受け継がれる『ティンガティンガ』。生と死が近い場所にある中で生まれたからこそ、生きることへの喜びと感謝をいきいきとした動植物を通して描かれています。

単身現地に渡り、村人と一緒に生きながら絵の修行を許された“唯一の外国人”で、帰国後はティンガティンガの『人々を幸せにする絵』という精神を基に“SHOGEN 流”の新たな表現で制作を続けています。『楽しく生きる...』ということは現代日本においては難しいことですが、SHOGEN の描く世界の中に “ヒント” を見つけてもらえたら嬉しいです。1986 年京都府生まれ。(HP より抜粋)





環境フェスティバル

3/18(土) 10時~15時頃

亀岡市役所 開かれたアトリエ ほか



斎田石材店

石工に石臼で挽いてもらうお抹茶体験 with 守屋先生

石臼で挽いた"ほんまもん"お茶を裏千家の守屋實智子先生のお話を聞きながら美味しくいただきます！



参加費 500円 人数 30名

映画「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る2050年」上映会

米NYのこどもたちが実現した発泡スチロールトレイ廃止を追いかけたドキュメンタリー映画。亀岡のみなさんもたくさん声優として参加した日本語吹き替え版を上映します。

時間 13時~15時 参加費 無料

日本語吹替にたくさんの人が協力

子供声優には全国578人x5の応募が!



アーティスト、政治家、環境活動家などが応援出演

亀岡市議会の櫻井議員はニューヨークの議員役を担当!

亀岡の子とみたちも声を出演!

亀岡市の桂川市長がニューヨーク市長の声を熱演!

春のコンポストワークショップ

くらしゴトLabo

生ゴミが消える不思議なコンポスト「キエーロ」にお絵描きして世界に一つのMyコンポストを作りましょう!
あみ笠団子の販売もあります!



時間 10時~11時半 / 13時~14時半
(環境&コンポストのお話の後、キエーロ作り)

参加費 2,000円
人数 午前・午後共に5組ずつ



長岡銘竹

いかだ作りに使った竹をリメイク! 竹箸・アクセサリ作り体験

保津川では竹もいかだで運ばれていました。竹いかだの復活プロジェクトで使った竹でおはしやアクセサリを作りましょう!



参加費 お箸づくり 1000円
指輪づくり 1000円

(一社) みんなの居場所 ORCA

今日だけリユースショップ 一般社団法人 ORCA

懐かしのCDどれでも100円祭り!
衣類も全部どれでも100円祭り!



NPO 法人環境保全ネットワーク京都 ストッププラスチックごみ

海岸で集めたマイクロプラスチックを顕微鏡で観察してみよう! プラスチックごみ問題のクイズにも挑戦、素敵な景品もあります!



参加費 無料/先着順

京都先端科学大学

民俗探究プログラム 写真でたどる保津川の今昔

保津川（大堰川・桂川）は、京北町、南丹市を経て亀岡市に入り、保津峡を通過して京都市に入り、伏見で鴨川と合流します。流域の昔と現在の姿を写真で見比べてみましょう。



バイオ環境学部 亀岡の環境はどうなってるの?!

私たちの大学の街、亀岡。卒業研究で調べた亀岡の現状を報告します！

廃材でエコなタコをつくろう!

お店から出た廃材を使って、エコなタコをつくっていきましょう!

参加費 300円

CAINZ



亀岡市役所

新しいごみの分別ルールの説明

「燃やさないごみ」「埋め立てるしかないごみ」って何？それって本当にごみ？4月1日から新しく始まるごみ出しのルールを分かりやすく説明します。

時間 11時～12時 参加費 無料



キッチンカーもやって来るよ!

ランチはキッチンカーでおいしい料理を楽しんでください。

京 FUJIHARU カレー
咲たこ（たこ焼き）
クレマ（ワッフル）



場所 市役所軽自動車用駐車場



プラスチック汚染問題にニューヨークの小学生が立ち上がる！
マイクロプラスチック・ストーリー
～ぼくらが作る2050年～

プラスチック汚染問題解決に立ち上がった ブルックリンの小学生が実践する変革のレシピ！

『マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年』は、ニューヨーク・ブルックリンの小学5年生たちが世界的に大きな問題になっているプラスチック問題を学び、彼らの視点でこの問題の根っこが何かを考え、解決に向かって自分たちの学校や地域から行動を広げて行くまでの2年間を追ったドキュメンタリー映画です。

子どもたちは、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で使い捨てプラスチックを減らす活動を重ねていきます。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校からアクションを起こします。そして、このアクションはニューヨーク市全体に広がり、ついに発泡スチロールトレイ廃止が実現します。

「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年」の日本語吹替版制作はタラ オセアン ジャパンとアニエスベールにご支援いただきました。